

早稲田の杜

2015年度 オープンカレッジ開講式

日 時：2015年4月4日(土) 10時30分～13時10分

会 場：大隈記念講堂 大講堂

式次第

10:30～ 式辞

早稲田大学総長 鎌田 薫

10:40～ 修了証書授与・紺碧賞授与

11:20～ 開講の辞

エクステンションセンター所長 太田 正孝

11:30～ 記念合唱 早稲田大学グリークラブ

「早稲田大学校歌」「紺碧の空」「酒頌」
「昂」「斎太郎節」

12:05～ 記念講演

講師：早稲田大学教授 中村 好男

「老いを楽しむ」

目次

01 2015年度 オープンカレッジ開講式 式次第

02 修了、紺碧賞、おめでとうございます！
～喜びの声、お祝いの声～

04 インフォメーション

修了、紺碧賞、おめでとうございます!

～喜びの声、お祝いの声～

センター所長よりメッセージ



太田 正孝

エクステンションセンター
所長

佛教の 「こころ」を求めて

秋谷 和夫さん
(2011年度入会)

大学を出て40年の社会生活をリタイアし、さて
という時、気がつけば手には書店で早稲田のパンフ
レットを握っていました。前から頭に残つており、
なんといつても講座の多さが決め手でした。今、年
間を通して受講しているのは、片岡直樹先生のうん
ちく満載の奈良講座と下野玲子先生の西域、敦煌
講座（これは毎回なにが出るかお楽しみ）です。（両
方とも私の意識の根底には仏教の「こころ」に対する
強い欲求があるのかも？）特に、両先生の講座の
懇親会では、すばらしい友人ともめぐり会いました。
その他の講師の方も惜しみなく一流の講義をして下
さっています。又スタッフの方にもいろいろ親切に
して頂きました。やつと「男の居場所」を見つけた
感があります。感謝！感謝！

修了生の メッセージ

このたび修了された
57名の中から3名の方に、
喜びのメッセージをお寄せいただきました。

講座の修了おめでとうございます。また、紺碧賞を受
賞された方々には重ねてお祝い申し上げます。毎春、多
くの皆さんのが無事に修了式を迎えることは、早稲田
大学エクステンションセンターのスタッフ一同にとつても
大きな喜びです。知的好奇心に満ちた会員のお一人おひ
とりが意義深い学びを実現できる環境づくりが我々の
使命であることを再確認する機会でもあります。そうし
た皆さんのご期待に応えられるよう、これからも努力し
て参ります。2015年度カリキュラムを通じて新たな
学びを獲得されることを祈念いたしますとともに、受講
生の皆さんますますのご活躍をお祈り申し上げます。

講師よりメッセージ



池田 雅之
●2014年度ご担当講座
「声に出して読む『古事記』」他

早大キャンパスで

石井 洋一さん
(1997年度入会)

私はアカデミックな場を求めていた55才の時に
入会し、主として故木村時夫名誉教授と大日方純
夫教授の「日本近代史」を軸に受講しました。故
木村時夫名誉教授とは年一回の北京大学訪問等、
中国旅行の機会を得、後の中国内有力校との交流
が拡大する中で日本近代史を理解するには中国の
歴史の解説も必要だと感じました。木村名誉教授
の主張した民間交流の必要性は勿論、両国内に於
ける様々な歴史認識は過去の事実と共に正しく確
認されるべきでこれなくして日本近代史は理解さ
れないでしょう。仲間の励ましに支えられ年齢、
性別、経験、職域の違いを乗り越えた早大キャン
パスライフは正に校歌の一節にある「集り散じて
人は変わど」「心のふるさと」そのものであった。

紺碧賞 受賞者の メッセージ

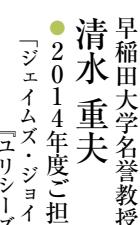
このたび受賞された
57名の中から3名の方に、
喜びのメッセージをお寄せいただきました。

修了生、紺碧賞受賞の皆さん、おめでとうございます。エクステンションの講座を担当するようになつてから、早いもので20年ほどたりました。これまで小泉八雲や、日本とケルトの神話などの講座を皆さんと一緒に楽しく学んでまいりました。最近は、出雲や熊野や日向など古事記の舞台となつた地域の文化と歴史を学ぶオムニバス講座を開講し、皆さんとフィールドワークにも出かけました。これからも教室で学んだことをフィールドで実感できるような体感学習を続けたいと思います。皆さんのご参加とますますのご精進を期待しております。

修了生の皆さん、そして紺碧賞受賞の皆さん、おめでとうございます。アイルランド文学は早稲田大学の学問の大切な分野です。私はアイルランドが生んだ文学者のうち、ジェイムス・ジョイスの『ユリシーズ』を中心で担当させていただいています。文学を読むことは、皆さんこれまでの人生経験が大きく関係してきます。その上で、難しいといわれるジョイスの作品について、皆さんのが情熱と旺盛な好奇心をもつて熱心に読み、そして楽しんでおられる様子に、私自身毎回刺激を受け、喜びを感じています。どうかこれからも文学を通じて充実した人生を送つていかれる事を祈念します。



清水 重夫
●2014年度ご担当講座
「ジェイムズ・ジョイス『ユリシーズ』入門」他



早稲田大学名誉教授
清水 重夫

オープンカレッジ修了・紺碧賞について

オープンカレッジの各講座には、受講生の継続学習の励みとなるよう独自の単位が設定されており、76単位を取得すると「オープンカレッジ修了証」が授与されます。修了生には「早稲田大学推薦校友」となる道が開かれます。また、修了後の更なる学びを奨励する目的で、2011年度に150単位以上修得された方を対象に「オープンカレッジ紺碧賞」を設けました。エクステンションセンターは、生涯かけての「学びの場」を提供し、皆さまの果てなき学習意欲を応援いたします。

人生、退屈している暇はなし

中嶋 弘子さん
(1980年度入会)

日本文学を学びたいという思いが常に私の中にあり、在学中の娘がエクステンション開設のチラシを持ってきたのが入会のきっかけでした。無農業農業に興味を持ち房総半島に仮住まいをして、10年程自然に親しみましたが、文学を忘れられず農業をやめて、再度エクステンションに通い始めました。梶原正昭先生の平家物語の、敦盛と熊谷次郎直実のくだりを聴いて涙し、もっとも多く受講させて頂いた紅野敏郎先生の講座中、森鷗外の「半日」では姫（ヨメ）の漢字を使っている事に興味深いものがありました。他の先生方の講義も講座毎に堪能させて頂き、幾人かの得難い友との出会いもあって退屈しないで10数年が経ち、思つてもみなかつた修了証は喜びです。

新たな出会いを求めて

久保田 武文さん
(2004年度入会)

2004年夏、長年の夢であつたアルプスを歩いた時、私のドイツ語は赤ん坊レベルで、出会つた人々との意思疎通も叶わず残念な思いが募るばかりでした。「これではならじ」と2005年冬、エクステンションのドイツ語講座に飛び込み、そこで素晴らしい先生に出会いました。荒井訓教授です。そして「生きた役に立つドイツ語」を楽しく学ぶことが出来たのです。以来10年間、教わったドイツ語のお蔭でアルプスを存分に楽しみ、国内外に多くの友人を得ることが出来ました。これもドイツ語講座を通じて得た私の貴重な財産です。今回の修了証は私の新たな旅の出発点です。今後もドイツ語を学びつつ新たな出会いを求め、かつ人生を更に楽しむつもりです。

魔法の絨毯に乗って

小林 陽江さん
(2001年度入会)

日の名残りに明かりが灯りました。故小山宙丸先生の「易しい哲学」を受講したのが始まりです。何もかも世界の首都パリで華やぐのだろうか。触れた事の無いフランス語をやつてみよう！思い切つて飛び込む。これが沈める太陽が逆行したかの様な日の出となるなんて。若くも人格者の小幡一雄先生のクラスは魅力が一杯。十年が経ち、モーパッサンの原書を読み進む内に絵画、音楽、歴史と知りたいことがどんどん広がっていきました。夢中で本校、八丁堀校と通っています。今回紺碧賞を頂けます事、まるで魔法の絨毯に乗つて空中を散歩し、只今着地した心地です。今からは自分の足でどんな所を散策できるか楽しみです。素敵な励ましを頂き有難うございました。

「源氏物語」受講の動機

太田 真優美さん
(1988年度入会)

高校の習字の授業で和歌をよく書き、「源氏物語」の影印本を手本にして書きたい、その思いから内容の理解が必要だと考え、早稲田大学エクステンションの平安文学を受講した。まず「蜻蛉日記」から始め、五年程プランクの後「源氏物語」を受講し、源氏物語の三分の二まで読み進んだ。受講する事で文章から情景が浮かび、物語が平面から立体的になり解釈が深くなつた。現代に続く行事等を発見したり、物語に出てくる場所に旅し平安の時を感じるのも楽しい。紺碧賞を頂く知らせを受け、続けてきた事が形になつた気がして嬉しい。そろそろ「源氏物語」を書で表そうと思う。

● Webサイトもご活用ください

2014年2月より、エクステンションセンターのWebサイトをリニューアルいたしました。Facebookとも連携し、更にご利用いただきやすくなりました。講座のお申し込みや、マイページにて申し込み講座の確認などもできますので、ぜひご利用ください。

Webサイトアドレス
<http://www.ex-waseda.jp>



早稲田大学エクステンションセンター Webサイト

● Facebookにて情報を配信しています

オープンカレッジに関する耳寄りな情報、講師や大学に関わるイベントの情報など、随時更新しております。

Facebookアドレス
<https://www.facebook.com/WasedaU.OPENCOLLEGE>

● フレンドシップ制度について

会員の方から新規の方をご紹介いただくと、ご紹介者には図書カード（1,000円相当）を進呈、新規入会の方には入会金を減免（8,000円から6,000円）いたします。詳しくは、春パンフレットP5をご覧ください。

早稲田の杜
WASEDA University Extension Center
Communication Magazine

●本誌へのご意見、ご感想をお待ちしております。下記発行元までお寄せください。

●『早稲田の杜』は当センターWebサイトでもご覧いただけます。

→ <http://www.ex-waseda.jp>

早稲田 エクステンション

検索

● ワセダギャラリーでの展覧会について

2014年9月にワセダギャラリーが、27号館小野梓記念館の地下1階にリニューアルオープンしました。新ワセダギャラリーにて、今年度もオープンカレッジ受講生の作品展を実施する予定です。是非、足を運んでみてください。

【今後の予定（一部）】

オープンカレッジ 書道展

■2015年6月3日～5日 ■10:00～17:00

※最終日（6/5）は16:00まで

木版画講座 作品展（伊藤 卓美 先生「木版画を作って楽しむ」講座）

■2015年6月9日～13日 ■10:00～17:30

※最終日（6/13）は16:00まで



2014年6月の木版画講座作品展の様子
(旧ワセダギャラリーにて)

